

第372号/2022年4月16日

公団王子五丁目団地自治会

東京都北区王子5丁目2番
2号棟110室
(月-金)9~16時 (土)9~12時
電話・fax 03-3913-6723
Eメール: ougo@m3.dion.ne.jp
http://www.dion.ne.jp/ougo/

王子五丁目団地 自治会会報

「家賃減額措置等」への対策を コロナ禍の今

2022年度(第46期)に 自治会が取り組む課題

新型コロナウィルスが2019年末にはじまり、長く猛威をふるっています。自治会の諸行事が中止、縮小され、居住者も外出や活動が大きく制限され、雇い止め、失職などの収入減が家賃の支払い困難など生活に大きく影響しています。団地生活では進む高齢化と年金生活のなかで、一層家賃の負担が重く、非常に生活が厳しくなっていることは自治会が取り組んだ第12回団地の生活と住まいアンケートで明らかになっています。

「機法25条4項の「家賃減免」の実施や修繕のさらなる前進をもとめ、活動していきま。また、コロナ禍で、家賃負担、生活不安が続くなか、居住者が安心して住み続けられるように、年金で住み続けられる家賃をめざし、引き続き全国統一行動、区議会、都議会、国会議員への要望活動を継続していきま。

「公団住宅を、終の棲家、ついでにすまか」とするために、住宅セーフティネットの「翼を担い、安心して住み続けられる公共住宅として位置づけるために国の住宅政策を変え、公共住宅として守る取り組みを強めながら、2022年度も、居住者の方々の協力を得ながら、活動をすすめていきます。

公共住宅を守り、よりよい住宅管理を要求し、安心して住み続けられる王子五丁目団地にするために

1. UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジネスに対し、十分な話し合いのなかですめるようはたらきかけま

閣議決定」にもとづき、入居開始が昭和40・50年団地はストック再生方針へと変更され、2033年までに建て替えや、削減、売却で35万戸の削減が計画されています。団地居住者の生活実態をふまえ、自治会や居住者との話し合い、URとの勉強会に参加、住まいの安定をはかりながらはたらきかけま

2. 家賃引き上げ幅拡大と改訂周期短縮等の施策に反対する運動をすすま

① 継続家賃改定ルールによる改定が最短2年ごと、契約日更新実施に対し、家賃見直しによる値上げは反対し、収入に応じた家賃制度確立をもとめま

② 政府に対し、UR賃貸住宅を公共住宅として守ることをもめ、UR都市機構(以下機構)に対し、賃貸住宅の売却・削減・整理縮小及び定期借家契約の導入に反対する運動をすすま

③ 現在適用されている家賃特別措置の継続をもとめま

3. 首都直下型地震や水害などの災害にたいする取り組みをすすま

① 首都直下型地震や水害への準備の充実をはかり、避難場所指定団地としての役割を確認しUR、北区、関係機関と話し合いをし、連携をはかりま

② 自治会の自主的な防災組織のいっそうの充実を居住者とともにし、防災意識を高めるため、防災訓練や防災学習会などをおすすま

③ マニュアルを活用し、集合住宅での災害準備を提案し、居住者への周知をおこないま

④ 防災倉庫や防災備品など点検、充実をはかりま

⑤ 機構と北区で締結している「大規模な水害における一時的な緊急避難に関する協定書」の見直しをするよう関係機関にはたらきかけま

4. 修繕問題、共同購入に取り組ま

① 機構に対し計画修繕の確かな実施をもとめま

② 修繕項目の機構負担区分を居住者へ周知をはかり、さらなる修繕項目の前進をはかりま

③ 灯油、襖共同購入など、会員世帯の要望を取り入れながら、各種共同購入をすすま

5. 団地生活のモラル向上と居住環境をまもり、ルールの確立、防犯活動に取り組ま

① 団地内や地下鉄駅前の「不法」駐輪・放置自転車対策を機構と話し合い、居住者用自転車置き場の整備を推進しま

② ジャパンミート利用者の駐輪自転車の整理等対策を機構やジャパンミートにはたらきかけま

③ 各階フロアーへの駐輪禁止を取り組みま

④ 団地内の共用部分を大切にしよう呼びかけま

⑤ 団地内の騒音対策を関係機関に引き続きはたらきかけま

⑥ 生活騒音への配慮や水漏れ事故防止を呼びかけるとともにペット問題を含む集合住宅の基本的なマナー確立をはたらきかけま

⑦ 団地内における事故や落書きなどの犯罪防止を警察や機構などと協力してすすま

⑧ ゴミ置き場やダストシュートの適切な使用や粗大ゴミ出しルールを守るようはたらきかけ、不法放置を含み、ゴミ分別方式の普及をすすま

⑨ 団地内への粗大ゴミの不法投棄を防止するため対策を機構にもとめま

⑩ 生活をするに当たり日常的ルールを守るよう機構にはたらきかけま

⑪ 各階共用部分への放置家具等に対し機構に対策をもとめま

6. UR都市再生機構、JS日本総合住生活協との連携を促進させま

① 団地管理業務の民間参入によるサービス低下を招かないよう、適切な運営をもとめま

② 共益費について、機構と説明会や勉強会など適切な運用をすすめていきま

③ 来客用駐車場の管理を改善しながらすすま

④ 緊急連絡員制度を充実させ、緊急時の利便性を機構と協力しながら向上させま

地域社会の確立とゆたかな団地づくりのために

1. 王子給水場上部利用について防災拠点など公用地としての利活用をもとめま

2. 高齢化問題での活動をすすま

① 居住者の高齢化がすすむなか、居住者相互の「たすけあいの会」の運営方法などさらに発展させた活動をすすま

② 「安心登録カード」や「短期不在届」の普及活動をすすめることに、生活支援アドバイザー

との連携を進めま

3. エラウンジの有効的な活用を、コロナウィルス感染症への対策を十分にたてながらおこないま

自治協と機構との連携研究の成果である、自治会管理の「エラウンジ」の運営をすすめ、おれあいサロン、ヤッスルーム、エラウンジ会議室での取り組みを向上させていきま

4. 生活においてのいろいろな行事や取り組みをおこないま。ただし、コロナ感染など十分に対策をたてながらおこないま

① 第45回団地まつりは7月30(土)・31日(日)の2日間開催しま。その他「フラスター」・「クリスマス会」など居住者交流の各種行事はみなさんの要望をとりいれ、内容の充実や見直しをおこないま

② 「ウらかば会 敬老会」については、対象者の増加にともなう会場の問題もあり、対象年齢の検討をおこない開催しま。また、小学校新入学児童・新成人へのお祝いを実施しま

5. 地球環境保護、リサイクル活動を定着・発展させま

① 排出ゴミの減量をめざす活動をすすま

② 「空きカン・ピン」ペットボトル、古紙のリサイクル体制を維持・発展させま

③ リサイクル活動に必要な環境・条件整備を機構や北区に働きかけま

④ 地球環境保護については、機構や北区とともにすすめていきま

6. 北区と機構が連携した地域医療福祉拠点に対し自治会の役割を反映していきま

7. 北区・公的機関の委託業務をおこない居住者とのパイプの役割を果たしま

8. 渉外活動、関係団体との連携、協力をすすま

9. 保育園・さくらだこども園・小中学校との連携をすすま

10. 自治会独自の、会員世帯にたいする水漏れお見舞い制度を引き続行いま

11. 北区王子町会連合会の構成団体として、区民まつり、平和祈念事業や青少年王子地区委員会の行事に積極的に参加しま

自治会活動の充実と発展

1. すべての居住者参加の自治会づくりをめざしま

① 会員は自治会活動の基礎であり、全居住者に入会の働きかけを引きつづきおこない、また、外国人居

公団王子五丁目団地自治会
第46回定期代議員総会
日時 4月24日(日)
午後2時~3時
場所 団地集会所(6号棟)
出席者 定期総会代議員・役員・会計
監査等
議題
◇2021年度活動報告、決算報告・同会計監査報告
◇2022年度活動方針案、予算案
◇選挙管理委員会の報告
◇その他

住者にも自治会活動に理解をもとめ入会のはたらきかけをおこないます。

②団地内の全ての店舗に「賛助会員」参加のはたらきかけを引きつづきおこないます。

③自治会内専門部・委員会に役員以外の会員に参加をもとめつつ、自治会活動への理解をもとめます。

④第12回団地の生活と住まいのアンケート」の結果を居住者の意見として、国会や機構の要請行動に

活用していきます。

⑤団地の変化に対応できる自治会にするための検討をすすめます。

⑥会報の発行やポスターの掲出、インターネットの活用や、ホームページ、ツイッターも活用しつつ広報活動をより分かりやすく充実させていきます。

2021年度 第45期 自治会 が取り組んだ活動のまとめ

2019年、年末から始まった新型コロナウイルス感染症はまたたくまに世界中で猛威をふるい、2年目に入った2021年も東京では4月25日から緊急事態宣言が発出され、東京で開催されたオリンピック・パラリンピックも緊急事態宣言のもと無観客で開催されるなど異常な状況がつつきました。

コロナ禍の中、雇止めや失職などの収入減で家賃の支払いが困難になるなど、住まいの貧困が大きな話題となり、住まいに対する役割がますます重要になっていきます。

住まいを守るため、住宅セフティーネットのさらなる前進や修繕項目の改善、募集家賃値上げの現状や、団地再生の問題点など、全国公団住宅自治会協議会、全国自治協、や東京23区公団住宅自治会協議会、23区自治協」とともに、政府をはじめ、国会議員、地方議会、都市機構に対しさまざまな要請行動をおこなってまいりました。

自治会自治協の最大な取り組みでもある、全国の公団居住者とともに実施する「全国統一行動」の署名カンパ行動など、居住者のみなさんの協力をいただきながら取り組むことができました。安心して住み続けられる公共住宅をめざし、この一年を振り返り、運動や活動を課題別に報告します。

1、公団住宅を公共住宅として 守り、住みよい安全な王子五丁目団地にするために

安心して住みつづけられる公団住宅をもとめる活動

- 4月25日から6月20日まで緊急事態宣言。6月21日から7月11日まで蔓延防止等重点措置。
- 7月11日から9月22日まで緊急事態宣言の発出のなか、コロナ禍での家賃値上げ反対や、収入減で家賃の支払いが困難な世帯に対し、分割での支払期間の延長など機構本社へ要請をおこないました。

全国自治協関係

5月13日・8月26日

自由民主党 公団居住者を守る議員連盟

6月21日 機構本社との意見交換会

7月9日・9月17日 スーム開催

11月2日 機構本社との定例懇談会

8月23日・9月28日・10月11日・12月15日・2022年1月20日

2022年1月20日

国会議員への要請

2月28日 日本共産党国会議員団との懇談

23区自治協関係

7月10日 各団地自治会役員向け 学習会

王五自治会でも12月3日、自治会役員が北区選出の議員へ要請行動をおこないました。

2021年全国統一行動へのとりくみ

コロナウイルス感染症の陽性者が大幅に減少し緊急事態宣言も解除された10月9日、統一行動の意義や公団住宅の現状をふまえ、自治会役員の間で話し合い、23区自治協主催の「団地代表者会議」が王子五丁目団地集会所で開催され自治会役員5名が参加。多和田全国自治協代表幹事を講師にむかえ、機構法25条4項のさらなる前進のためにも署名が大きな力となり政府を動かす原動力となることなど、毎年おこなう統一行動の重要性を学びました。

家賃減免の実施と、年金で住み続けられる家賃制度を求める運動をすすめること。対面での回収が困難ななかでも国土交通大臣宛・都市機構理事長宛の署名提出行動を続けることが重要であることが確認されました。

10月31日から署名用紙の全戸配布をおこない、第1回目の締め切りを11月13日(土)とし、署名未提出世帯向けに特別回収を11月23日(火・祝)屋外で居住者還元の「環」であるトイレットペーパー無料交換日に合わせて個別回収もおこないました。

12月9日、日本教育会館で縮小された規模で全国公団居住者総決起集会」が開催され全国の公団居住者の署名用紙とともに機構本社と国土交通大臣宛の署名の提出行動が実施されました。

王子五丁目団地の署名総数は機構理事長宛621世帯1,012名・国土交通大臣宛622世帯1,013名。カンパ総額325,700円が居住者のみなさんから協力をえることができました。

共同購入

襖の共同購入、灯油共同購入をおこないました。

北住まいセンター交渉・団地内工事

道路および駐車場の舗装打ち換え・植栽整備・汚水管整備他、屋外環境整備工事の事前説明。

不法駐輪・オートバイ撤去。自治会が要望を出していたジャパンミート前段差滑り止め工事や立駐駐車場内不法駐車への撤去勧告(撤去)も実施されました。

緊急連絡員受託と来客用駐車場運営

緊急連絡員委託業務では、祝祭日の集会所の鍵貸出し、引越し時の車止めの鍵貸し出しや、夜間の水漏れ対応などの業務をおこないました。

防災活動

多くの人が集まる防災訓練は中止となりましたが、11月15日、UR都市機構と自治会双方で災害用伝言ダイヤル171とWeb171を利用して災害時通報訓練を自治会役員3名が携帯電話で実施しました。

2、地域社会の確立とゆたかな 団地づくり

リサイクル活動

リサイクル活動では、古紙・雑誌・古着・段ボールの分別回収、2021年度合計約109トン、空きカン・ピンのステーション回収に引きつづき取り組みました。

区からの資源回収報奨金を資金とした居住者選元の再生トイレットペーパーの全戸無料交換を、11月16日～11月26日の期間、自治会事務所で行いました。また11月23日(火・祝)署名の回収とともに特別交換をおこないました。再生紙使用の

トイレットペーパーの通年販売もおこないました。

諸行事の開催

第45回団地まつり」をはじめ、フェスタ王五、クリスマス会、新年会」などの大きな行事は中止となりました。ひらかば会(敬老会)のお祝いの会は中止となりましたが、米寿・喜寿の方へお祝いとして北区共通商品券を届けました。

王子町会自治会連合会の活動

王子町会自治会連合会の一員としての活動は、「おたのしみ会」、「ごんこんまつり」、「家族ふれあいボウリング大会」、「球技大会」、「ポッチャ大会」、「ラジオ体操会」などの青少年地区委員会の行事が中止となりましたが、「ポッチャ大会」にむけ青少年推進委員の練習会が3回開催されました。また、「区民まつり」、「平和祈念事業」の「環」として「納涼盆踊り大会」。避難所立ち上げ訓練」なども中止になりました。

3、団地生活になくはないなら ない自治会活動

都市機構との連携・Eラウンジの活用 高齢者への取り組み・福祉活動

都市機構と自治協との連携研究の「環」として、高齢者・子育て世帯に対する取り組みとして、管理・運営を委託されたEラウンジでは、団地内の高齢者や、近隣高齢者のために、王子光苑苑高齢者あんしんセンターの出張相談窓毎週月曜日の午前9時30分～午後3時30分)が開設され地域に根付いた窓口になりました。

家賃問題特別会計報告

自2021年4月1日～至2022年3月31日

Table with 2 columns: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Rows include 前期繰越金, 統一行動カンパ, 受取利息, 合計, 活動費, リーフ・ハソフレット代, カンパ自治協納付金, 次年度への繰越金, 合計.

記念事業特別会計報告

自2021年4月1日～至2022年3月31日

Table with 2 columns: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Rows include 前期繰越金, 受取利息, 合計, 次年度への繰越金, 合計.

灯油共同購入特別会計報告

自2021年4月1日～至2022年3月31日

Table with 2 columns: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Rows include 前期繰越金, 2021年度灯油券代, 2022年度灯油券代, 受取利息, 合計, 2021年度払戻金, 2021年度灯油代金, 2022年度灯油代金, 活動費, 次年度への繰越金, 合計.

環境リサイクル特別会計報告

自2021年4月1日～至2022年3月31日

Table with 2 columns: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Rows include 前期繰越金, 古紙等回収報奨金, カン・ビン回収報償金, トイレトペーパー売上, 受取利息, 合計, 業者等費用, 居住者還元トイ代金, 居住者還元消耗品, 通信費, ロールトワレ, 一般会計への繰入, 次年度への繰越金, 合計.

区事務委託料特別会計報告

自2021年4月1日～至2022年3月31日

Table with 2 columns: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Rows include 前期繰越金, 2021年度事務委託料, 受取利息, 合計, 一般会計へ繰り入れ, 役員研修会費, 次年度への繰越金, 合計.

来客用駐車場特別会計報告

自2021年4月1日～至2022年3月31日

Table with 2 columns: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Rows include 前期繰越金, 駐車場料金, 力一ド売上, 受取利息, 合計, 一般会計へ繰り入れ, 次年度への繰越金, 合計.

緊急連絡員特別会計報告

自2021年4月1日～至2022年3月31日

Table with 2 columns: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Rows include 前期繰越金, 委託料金, 受取利息, 合計, 一般会計へ繰り入れ, 通信費, 次年度への繰越金, 合計.

合同貸借対照表

2022年3月31日

Table with 4 columns: 資産の部 (Assets), 金額 (Amount), 繰越金 (Carryover), 金額 (Amount). Rows include 現金, 普通預金, 定期預金, 一般会計, 環境リサイクル特別会計, 家賃問題特別会計, 灯油共同購入特別会計, 区事務委託料特別会計, 記念事業特別会計, 来客用駐車場特別会計, 緊急連絡員特別会計, 事務所確立積立金, 慰労金積立金, 合計.

[注1] 事務所確立積立金は、今後の自治会活動強化や災害対策のため積立しているものです。

2面からのつぎ

高齢者の居場所づくりの「おれあいサロン」では月曜日から金曜日の午後開店していましたが、コロナ禍の中、緊急事態宣言が長引き閉鎖せざるを得ない状況でした。毎月第2火曜日開催の「俳句教室」は検温、アルコール消毒の徹底をはかり開催されました。

北区地域見守り・支え合い活動促進補助事業の助成金は、たすけあい活動会員「ホランティア」の保険料や、Eラウンジで開催された教室の講師謝礼や備品の購入代として活用されました。

団地内に配置されている生活支援アドバイザー、民生委員、高齢者安心センターと連携をとりながら、高齢者への見守りや手助けをおこなっていました。

コロナワクチン接種日予約の手伝いや、接種当日車いすでの付き添いなどのほか、UR都市機構への家賃特別措置の添付書類の住民票や課税証明など代行業務をおこなっていました。

高齢者あんしんセンターから「おたがいさまネットワーク協力員」に2名が委託され一人暮らしのお年寄りを見守る活動を感染予防に気をつけながらおこない、王子圏地域包括連絡会や王子光照苑連絡協議会に出席しました。

王五団地自治会 たすけあい活動

自治会が立ち上げた日常的な困りごとの手助けをおこなう、居住者相互による「たすけあいの会」は、病院への送り迎えや、家具の移動、買い物、認知症の方の見守り、粗大ゴミ出しなど、107件の依頼があり、活動会員「ホランティア」の協力をえて対応をおこなっていました。

行政や公的機関とのパイプ役

自治会は行政・公的機関の窓口として、さまざまな受託事務や広報活動のほか、団地居住者と行政のパイプ役として、また、地域のコミュニティ組織としての大きな役割を果たしています。

広報活動・役員会など

自治会活動などの情報を迅速に伝えるためポスター掲示や会報発行などにつとめてきました。また、インターネットを活用した活動を模索し、ホームページやツイッターなどの活用もすすめました。

自治会は、専門部体制の強化等を実施してきましたが、今期も役員が定数に満たない中、役員会の開催や専門部の会議等も開き、会員世帯に協力をもとめつつ活動してきました。居住者のライフスタイルの変化に対応し、居住者が利用しやすいよう土曜日の午前中自治会事務所開設をおこないました。

公団自治協や町会自治会連合会での活動

他の公団団地自治会や居住者と連携をはかるために、23区自治協や全国自治協へ、23区自治協幹事、23区自治協会長・全国自治協代表幹事)として、副会長2名を派遣の構成自治会としても力を発揮してきました。地元の王子町会自治会連合会や北区の明るい選挙推進委員、青少年王子地区委員会など地域の関係する組織に代表を派遣するなど、地域でも重要な活動をおこなってきました。

JSS日本総合住生活協との連携

定期的開催されていた「住まいの相談会」も密になることが懸念され中止されましたが、年2回レンジフード清掃の場所提供など協力をおこないました。

今後行事等は感染症拡大の状況によって変更が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

会報「総会議案特集(本誌)」も全世帯にお届けします。

自治会未加入世帯のみならず、ぜひ自治会に入会をお願いします。

2022年度予算案

2021年度決算報告書

収入の部 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

科目	予算額	2021年度実績
会費等収入	5,120,000	3,376,600
会費収入	5,000,000	3,296,000
入会金収入	20,000	2,600
賛助会費	100,000	78,000
区助成金等	400,000	411,185
区事務委託料特別会計繰入	2,000,000	1,500,000
緊急連絡員特別会計繰入	350,000	350,000
来客用駐車場特別会計繰入	150,000	130,000
環境リサイクル特別会計繰入	500,000	500,000
雑収入	100,000	28,655
前年度繰越金	321,248	150,296
合計	8,941,248	6,446,736

収入の部 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

科目	予算額	決算額
会費等収入	5,120,000	3,376,600
会費収入	5,000,000	3,296,000
入会金収入	20,000	2,600
賛助会費	100,000	78,000
区助成金等	400,000	411,185
区事務委託料特別会計繰入	1,500,000	1,500,000
緊急連絡員特別会計繰入	350,000	350,000
来客用駐車場特別会計繰入	150,000	150,000
環境リサイクル特別会計繰入	1,000,000	500,000
雑収入	200,000	28,655
前年度繰越金	150,296	150,296
合計	8,870,296	6,446,736

支出の部

自治会活動費	1,050,000	335,824
活動費	400,000	100,940
通信費	100,000	71,511
交通費	150,000	0
慶弔費	300,000	140,000
会議費	100,000	23,373
広報費	400,000	142,960
行事費	1,000,000	126,000
事務局活動費	4,150,000	3,696,407
事務局員活動費	3,750,000	3,350,000
配布料	400,000	346,407
運営費	1,200,000	1,099,297
事務所使用料	350,000	316,800
消耗品費	300,000	257,403
備品購入費	100,000	100,000
備品リース費	450,000	425,088
分担金	611,000	479,000
公団自治協	480,000	360,000
連合町会	50,000	38,000
防火協会	25,000	25,000
防犯協会	45,000	45,000
清掃協力会	11,000	11,000
記念事業特別会計引当金	0	0
慰労金積立引当金	246,000	246,000
予備費	284,248	0
次年度繰越金		321,248
合計	8,941,248	6,446,736

支出の部

自治会活動費	1,050,000	335,824
活動費	400,000	100,940
通信費	100,000	71,511
交通費	150,000	0
慶弔費	300,000	140,000
会議費	100,000	23,373
広報費	400,000	142,960
行事費	1,000,000	126,000
事務局活動費	4,150,000	3,696,407
事務局員活動費	3,750,000	3,350,000
配布料	400,000	346,407
運営費	1,200,000	1,099,297
事務所経費	350,000	316,800
消耗品費	300,000	257,409
備品購入費	100,000	100,000
備品リース費	450,000	425,088
分担金	611,000	479,000
公団自治協	480,000	360,000
連合町会	50,000	38,000
防火協会	25,000	25,000
防犯協会	45,000	45,000
清掃協力会	11,000	11,000
記念事業特別会計引当金	0	0
慰労金積立引当金	246,000	246,000
予備費	213,296	
次年度繰越金		321,248
合計	8,870,296	6,446,736

ふれあいサロン会計報告

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

収入		支出	
前期繰越金	189,445	活動費	0
受取利息	8	仕入れ	0
		消耗品費	0
合計	189,453	次年度への繰越金	189,453
		合計	189,453

助け合いの会会計報告

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

収入		支出	
前期繰越金	223,666	活動費	80,200
入会金	15,000	事務手数料	20,050
チケット売り上げ	119,250		
受取利息	10	次年度への繰越金	257,676
合計	357,926	合計	357,926

きりとりせん

☆円滑な団地生活のためにも、未入会世帯はぜひともご入会ください。下の入会申込書に記入のうえ、自治会事務所に ご持参いただくか、事務所のポストへ投函してください。ファックス、e-mailでもどうぞ。

公団王子五丁目地 自治会入会申込書

公団王子五丁目団地自治会に入会を申し込みます。

号棟 号室 (TEL)

ふりがな
世帯主お名前

年月日 公団王子五丁目団地自治会御中

[事務所] 王子五丁目団地 (2号棟) 110号室
[Tel&Fax] 3913-6723 [mail] ougo@m3.dion.ne.jp

◇会費は月500円です

会費をいただく方法
どれかに○をお願いします

◇金融機関自動振替
・城北信用金庫東十条支店
・第一勧業信用組合東十条支店
・ゆうちょ銀行

◇ゆうちょ銀行払込
◇集金
◇事務所へ直接持参

会計監査報告書

公団王子五丁目団地自治会の2021年度会計監査を4月2日午後、自治会事務所で実施しました。

貸借対照表および決算書の正確性、資産の監理状況、業務処理状況について詳細に監査したところ、いずれも的確に処理されていることを確認しました。

照合資料 1. 金銭出納帳および預金通帳
2. 収支伝票および付属資料
3. 科目別勘定台帳
4. 会費納入台帳

2022年4月2日
会計監査委員 石原 妙子 (印)
" 岩崎 佳奈恵 (印)